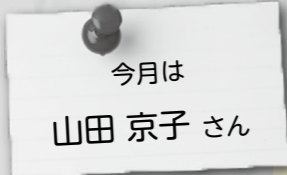


つむぐ通信

シリーズ連載 その119

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

- 【江田島市地域おこし協力隊】
- 観光事業総合プランナー 山田 京子
 - オーブブランドクリエイター 鉄増 千夏
 - 里海コーディネーター 向井 綾香
 - プロモーション推進員 西尾 国弥
 - 沖まちづくり協力隊 前谷 圭祐
 - 観光事業総合プランナー サミ-ラ クマー
 - 大柵高等学校活性化コーディネーター 前田 脩人



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊

皆さん、こんにちは！
地域おこし協力隊3年目を迎えた観光事業総合プランナーの山田です。
きれいな青空に鯉のぼりが泳ぐ季節がやってきました。われらが広島カープは開幕3連勝しましたが、その後2連敗：とんだか落ちて見えて見られない『いつも通りの』活躍を見せてくれています。若鯉が頑張ってくれているので今後の活躍が楽しみです。

えたじまーれ1周年
さて、昨年1年間は『えたじまーれ』の運営に携わって来ました。商品のエース・柑橘類をはじめ、地元の青果類などもオープン当初に比べると飛躍的に陳列数・種類とも増えました。これもひとえに生産者皆さまの協力のおかげと感謝しております。
また、出荷が遅れていた牡蠣も、年明けから徐々に店頭で並べられる状況になりました。『江田島市カキ祭』は中止となりましたが、江田島市といえはやはり『牡蠣』。店舗で販売取扱のある冷凍牡蠣などを使い、週末の店頭にて『焼き牡蠣』を販売するなどして江田島牡蠣のPRをしました。
1周年イベントでは生産者の皆さまのご協力をいただき、生鮮品の100円均一コーナーを作ることができ、大変盛況でした。同時にいしじみかんの詰め放題も実施、昨年同様に皆さまの『いしじ愛』に触れることができました。

えたじまーれまつり
飛渡瀬地区にあるえたじまーれは、立地が非常に良く、市内外の皆さまに集まっていたただける『観光地』にしたいと思っていました。それを具現化するために企画したのが『えたじまーれまつり』です。
第1回は7月に開催した『ビール祭り』、2回目は11月に開催した『秋の収穫祭』、そして3回目4月に開催した『花とグルメ』と年間3度の固定イベントを設けることができました。
皆さまが多く集い、美味しい食べ物やゆったり流れる時間を楽しみながら島の休日を感じていただけたと思います。
短時間でイベントの準備をするため、イベント告知が十分にできていなかったのが課題です。SNSを利用していただけない方もまだまだ多いため、どのように告知していくか観光協会の企画員と相談しながら、より多くの皆さまに参加していただけるようなイベントに育てていきたいと思っています。

こどもたちの触れ合い
昨年度は2回ほど江田島市のこどもたちと触れ合う機会をいただきました。
1回は能美中学校1年生の総合学習の時間に、江田島市の地域おこしに携わる人々の話を聞こうという内容で、もう1回は江田島市PTA連合会主催の地域おこし協力隊の活動を学ぼうという内容でした。
いずれの機会も普段なかなか触れ合



うことのできないこどもたちとの貴重な時間で、江田島市のこどもたちとも地元を愛していることがよくわかりました。

観光拠点『えたじまーれ』
私は現在えたじまーれの運営に携わっており、協力隊としてあちこちに出向いて行く活動形態ではありません。えたじまーれという施設に向かい合ってみて改めて思うことは、えたじまーれはただの商店ではなく充分観光拠点となりうる場所であるということです。
足を運んでくださる皆さまに喜んでいただく、楽しんでいただく、時々お叱りを受けながら皆さまの思いや希望にできる限り寄り添いながら最終的にまた行くこうと思える回帰点になることができたなら、私の協力隊としての活動は成功だったといえるのかな。そんなことを思いながら最終年度のこの1年間をえたじまーれに費やしていこうと思っています。
次回寄稿の時に胸を張って皆さまに結果報告が出来るよう、この1年活動しようと思えます。皆さまえたじまーれの応援、よろしく願っています！

災害時における物資調達に関する協定締結

本市とプラス株式会社ジョイントテックカンパニー及びアンザイ株式会社との3社間で、災害時における物資調達に関する協定を締結しました。

本協定は、災害により避難所生活が長期化した際に、生活必需品や防災資材を市民に適切に供給することを目的としています。

調印式で大濱副市長は「必要量を備蓄するとともに、迅速に物資を調達できる経路を確保しておくことは、災害に強く安心して暮らせるまちを目指す本市にとって、市民の暮らしを支える大きな力になる」と喜びの言葉を述べました。



災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等に関する協定締結

本市は、広島キッチンカー協同組合との間で、災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等に関する協定を締結しました。

この協定は、災害が発生した際に、キッチンカーを利用した炊き出しを通じて、避難生活の早期安定を図ることを目的としています。

調印式で大濱副市長は「避難所へ避難した方々への食糧支援を確保することは、本市の重大な責務です。本協定の締結は、災害に強く、安心して暮らせるまちを目指す本市にとって、住民の暮らしを支える重要な取り組みとなる」と喜びの言葉を述べました。



江田島警察署通信 第117号

江田島警察署 ☎0823-42-0110



～こどもの安全安心について～

テレビを見ると、ニュース報道でこどもが巻き込まれる悲惨な事件や事故が度々流れてきます。

このような事件や事故は、いつどこで起こるかわからないため、警察は学校やこども園、放課後児童クラブなどから依頼を受けて、不審者対応訓練を実施しています。

これにより、先生が行うべき対応やこどもたちの避難方法を教えています。また、こどもが学校へ集団登校する際には、保護者や地域ボランティアの皆さまが協力して見守り活動を行っています。

本市では一丸となってこどもの安全安心を守っていますが、残念ながら、昨年、市内ではこどもに対する声掛け事案等が7件発生しました。

学校などでは、こどもたちに対し、不審者に遭ったときの対処方法として

「いかのおすし」

- いか・・・「いかない」
- の・・・「のらない」
- お・・・「おおきな声を出す」
- す・・・「すぐ逃げる」
- し・・・「大人に知らせる」

を教えています。

こどもたちが大きな声を出して助けを求めていたり、走って逃げていたりするときは、こどもに危険が迫っているときです。

すぐに警察にお知らせください。